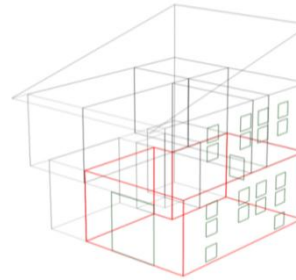


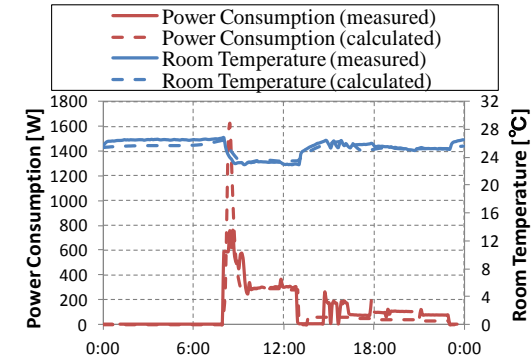
建物特性：住宅エアコンモデループレクーリング効果

COMMAハウスのQ値や建物構造を考慮して、熱負荷シミュレーションによりエアコン利用時の温熱環境や電力消費量を計算し、COMMAハウスにおける実測結果と比較してモデルの精度を検証しました。



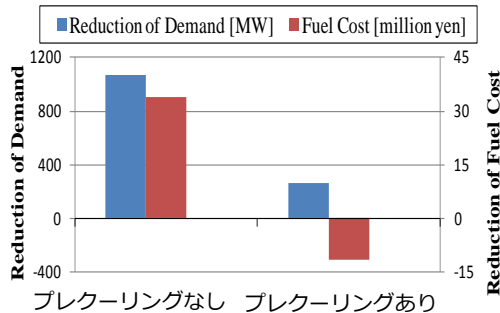
シミュレーションによって精度良く実測結果を模擬できていることを確認しました。

実測とシミュレーション結果の比較



シミュレーションモデルを用いて、エアコンの快適性を確保しながら系統全体の夏期電力需要のピークを削減する効果を評価しました。

ピーク需要削減効果



東京電力管内において、プレクーリングなしの場合では、約100万kWのピーク削減効果があり、プレクーリングありの場合では、より快適性は高まりますが、ピーク削減効果は26万kWになることがわかりました。

